

今後の急速な少子化を踏まえた産業教育の在り方について 提言【概要版】

宮城県産業教育審議会では、令和3年6月に宮城県教育委員会から「今後の産業教育の在り方」について諮問を受け、令和4年5月に『今後の産業教育の在り方について』の答申をまとめた。しかし、答申を取りまとめた当時に見込まれていたよりも急速に少子化が進行することや、AI等の技術革新により、社会構造が大きく変化することが予測されたため、令和5年度の審議会において専門委員会の設置を決め、令和6年度の審議会及び専門委員会の調査・研究、審議を経て、答申を補完するための提言をまとめた。

子供たちを取り巻く急激な社会変化

- 人口減少に伴う地域産業の担い手不足は深刻であり、各地域においても外国人材を恒常的に雇用する企業が増え、企業や地域コミュニティにおいて外国人と関わる機会が多くなることが想定される。
- 技術革新の進展により、AI、ビッグデータ、IoT、ロボティクス等の先端技術が高度化し、あらゆる産業や社会生活に取り入れられている。
- 情報技術やデジタルトランスフォーメーション(DX)の進展に伴い、産業の各分野においてAIやロボット技術を活用した業務の効率化が求められている。

産業教育を通じて育成すべき人材

少子化の急速な進行にともない、地域産業の担い手不足や産業の省力化などへの対応が課題となる中、専門高校や専門学科においては、地域の資源や特性を活かしながら、持続可能な地域社会の創り手として前向きに取り組むことができる人材を育成していくことが望まれる。

そのため、産業教育のそれぞれの専門分野の学びにおいては、基本的な知識や技術を習得するとともに、社会状況の変化に対応するための情報収集能力、分析力、コミュニケーション力、課題解決力などを身に付けた人材を育成することが必要である。そのような力を身に付けさせるためには、他者と協力しながら、地域への愛着や誇りをもって主体的に地域の課題解決に取り組むことが必要である。

また、DXの進展に応じて、産業ロボットやAI、ICT機器等についての知識や技術を身に付けるとともに、高い倫理観をもってデータや機器を活用し、高度デジタル社会に対応できる人材や、国際的な視点を持ち、多様な価値観や文化的背景を有する人々と円滑にコミュニケーションを取ることができる人材育成を推進することが求められる。

提言の3つの柱

1 少子化を踏まえた魅力ある新たな学びの方策について

(1) 産業教育の新たな学びの在り方

- 複数の専門高校・専門学科同士が、相互の特色や強みを活かし、協働して課題解決に向かう学びの推進
- 自治体や産業界、大学等と連携・協働した学びの一層の推進

(2) デジタル技術に対応できる人材育成の在り方

- 様々な専門分野において、産業ロボットやAI、ICT機器等についての知識や技術を学ぶとともに、高い倫理観をもって、データやデジタル機器を活用する学びの推進

(3) 地域協働型教育の在り方

- 地域特産物を活かした商品やサービスの開発
- 地域に受け継がれてきた生活文化を伝承するとともに、関係機関と連携・協働し、ビジネスや観光等の学びに展開

2 専門高校と地域・産業界等の連携・協働の取組強化について

(1) 社会のニーズに応じた学科・科目等の教育内容

- 社会の変化に対応した魅力ある教育課程や、他の専門分野を横断的に学ぶことができる柔軟な教育課程の編成
- 産業界における効率化、省力化等の業務改善に対応した知識や技術を習得させる科目設定
- 異なる文化や価値観などへの理解を深めるなど、国際的な視点を身に付ける学びの推進、海外の高校との協働学習
- 大学や産業界等からの外部講師の招聘、共同研究

(2) 学校間・学科間での協働的活動・学校施設設備等の共有

- 実習施設・設備を、互いに活用し合う体制の構築
- 施設・設備、外部講師等の情報の共有化

(3) 産業界等と連携した教育課程の実践

- 地域企業・大学等との間で、持続可能な連携・協働体制の構築
- 学校と企業とをつなぐコーディネート機能を有する人材の配置

3 産業人材育成のための学校・学びの在り方について

(1) 地域の環境資源等を活用した学科の在り方

- 充実した実習施設や漁場、ほ場等の環境資源を、県全域において共同で利活用
- 県内のどこに居住していても希望する学びを受けられる対策

(2) 専門学科等の在り方

- 専門単独校及び複数学科を併設した学校等の在り方の検討
- 学校の実情に応じた遠隔授業配信や、施設の共同利用等、多様な学びの在り方の検討
- 学びの機会を確保するための、くくり募集やコース制、類型制の検討

(3) 魅力発信の在り方

- 主に小中学生を対象とした実際の授業体験や地域イベント等の実施
- 小中学生の将来のキャリアデザインに資する魅力発信